

令和7年度 若者未来デザイン会議における出席者提案・意見の施策反映状況一覧

通番	属性	提案内容	施策への反映結果	施策に係る事業名、予算額	関係部局
1	中学生	<p>〇いじめを生まない社会をつくるためには、人と人がつながることが大切。中学生が地域に出て活動することで新たな交流を産み、地域のみんなが対話する環境を作る。そのために下記のとおり提案。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生の考えや活動を地域の方々や県民の方々に知ってもらうための中学生の発信の場を作る ・自ら発信するためのノウハウの提供 ・県内の中学生が情報交換や意見交換が行える場を作り、魅力あるこれからの岐阜県を作る活動を生み出す 	<p>【教育委員会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県教育委員会のホームページで、岐南中学校の取組を紹介する。 ・令和8年2月に開催する校長会や教育長会等で、岐南中学校の取組を紹介する。 ・令和8年度の県教育事務所が開催する「生徒指導連携強化委員会」において、発表の機会を設けることができる。 ・令和8年度の羽島郡二町教育委員会が主催する「リーダー養成塾」への協力や、文部科学省が主催する「全国いじめ問題子供サミット」派遣への協力が可能。 ・令和8年度の岐阜県生徒指導推進会議で「全国いじめ問題子供サミット」の生徒による発表の様子を紹介する。 <p>【広報課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度より、より若者に県政を理解してもらえるよう県広報公式Instagramを開始し、知事や職員が出演するショートドラマや、各市町村との連携企画など、若者世代にも県政や岐阜県をわかりやすく発信する取組みを実施しており、県の取組みを紹介することができる。 	<p>【教育委員会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめ未然防止・不登校等児童生徒支援事業費 3,192千円(令和8年度当初予算) <p>【広報課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNSアカウント運用費 6,504千円(令和8年度当初予算) 	教育委員会 広報課
2	中学生	<p>〇大型ショッピングモールに託児所を作る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政と民間企業がコラボして託児所を作る。 ・例えば1時間無料、2時間目は300円など安い値段で預かってもらえる と気軽に利用し、自分の買い物に時間を使うことができる。 ・育児で大変なお母さん、お父さんに束の間の安らぎを与え、小さい子供がいても気軽にショッピングモールに来てもらい、たくさん買い物をしてもらえるので経済成長にもつながる。 →結果的に「岐阜県って育児がしやすい場所なんだ」と思ってもらえる。 そして、岐阜が住みたいまちになる。 	<p>【子ども・女性部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ショッピングモールで買い物をするときなどに、子どもを預けることができるサービスとして「ファミリーサポートセンター事業」がある。 例えば、土岐市では、市内の大型ショッピングモール内にセンターを設置しており、買い物中の方が気軽に託児サービスを利用することができる。 このような取組を県内の市町村や子育て支援に関わる方に紹介して、より多くの保護者の方にサービスを利用いただけるような環境をつくっていく。 	<p>【子ども・女性部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぎふっこ育児サポート事業 700,000千円(令和8年度当初予算) ・地域子ども・子育て支援事業費補助金 2,379,812千円(令和8年度当初予算) 	子ども・女性部
3	中学生	<p>〇朝食をお店で～モーニングプロジェクト～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知事が高齢者施策として行っている「ぎふモーニングプロジェクト」をヒントに、子育て世代の応援施策として立案。 ・地元の小中学生の投稿時間前にご飯が食べられるよう、お店を早い時間から開けてもらい、栄養満点で地元の特産品が使われているモーニングを家族で食べる。 ・保護者の朝の家事を楽にし、しっかり朝ごはんを朝からみんなで食べることで健康になれる。 →人が来ることで、お店が繁盛し、地域が活性化する。 ・朝から、普段関わらない人とつながりができるようになり、人と人のつながり、地域のつながりが増えて、住み続けたい人が増える。 <p>〇モーニングのお店の良さをPRしてもらい、クーポンを配布</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒会が行ってきた「良いこと見つけ」の活用として、SNSにお店のモーニングの良さをレビューとして発信してもらい、その人にクーポン券を配布。 →そのお客さんに繰り返し来店してもらえるし、そのレビューをみて県外を含めた新たなお客さんの来店につながる。 	<p>【子ども女性部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まずは、保護者に対して、朝食の準備や朝の時間の使い方等の実態の聞き取り等を行い、ニーズについて把握する。 <p>【健康福祉部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援の施策ではないが、「ぎふモーニングプロジェクト」の推進に向けて、令和8年1～3月に、県内の喫茶店に通う18歳以上の方を対象に、健康やフレイル状態の把握とフレイル予防の拠点としての活用を検討することを目的とした健康管理モニター事業を実施。その参加者募集にあたり、健康に関する講座やアプリの説明を珈琲を飲みながら聞いていただくキックオフイベントを各喫茶店で開催した。 ・健康管理アプリをインストールし、アプリを継続利用してポイントをためると、そのポイントで喫茶店のコーヒークーポンを獲得できる取組の実施を検討している。 	<p>【健康福祉部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぎふモーニングプロジェクト推進事業費 3,518千円(令和7年度3月補正予算) 	子ども女性部 健康福祉部 (モーニング関連施策)
4	中学生	<p>〇自然、地域、音楽でつながる岐阜！大型フェスの開催</p> <ol style="list-style-type: none"> ①「岐阜の美味しいものを集めよう」と題して、それぞれの市町村の特産物を出してもらい、お得に購入できるようにしたり、特産物を使った郷土料理で食べ歩きできるようにする。そして、各地域のキャラクターなどを活かし、特産物を購入した市町村のキャラクタースタンプを使ったスタンプラリーを実施。 →より楽しみながら購入したり、各市町村の特産物を「楽しく」買ってもらえる。 ②「集まれ！岐阜県の中・高生！」と題して、農林高校や工業高校などで作っているものなどを販売し、未来の岐阜を支える若者に活動の場を提供。 ③「岐阜県ゆかりのアーティストや芸能人を招待した音楽フェスの同時開催」と題して、岐阜県に関わる有名人を読んで、SNSを活用した情報発信を行う ④「来た時よりも美しく！リサイクルコーナー＆ゴミ箱の設置」 	<p>【観光文化スポーツ部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本県の豊富な地域資源を生かした音楽フェスの開催など、観光振興に資する地域の取組を支援する。 <p>【農政部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業フェスティバルを以下の観点①②で検討中。 ①各市町村の参画を促し、県内各地の特色ある農産物・加工品を販売する出展枠を拡充 ②ミナモホールを活用して、小中高生など若者の各種活動発表の場を設ける 	<p>【観光文化スポーツ部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ストーリーでつなぐ岐阜県観光推進補助金 48,000千円(令和8年度当初予算)(令和7年度3月補正予算) <p>【農政部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岐阜県農業フェスティバル開催費負担金 22,575千円(令和8年度当初予算) ・県庁舎を活用した農業フェスティバル魅力向上事業費 3,725千円(令和8年度当初予算) 	観光文化スポーツ部 農政部

令和7年度 若者未来デザイン会議における出席者提案・意見の施策反映状況一覧

通番	属性	提案内容	施策への反映結果	施策に係る事業名、予算額	関係部局
5	高校生	<p>【農業×教育】</p> <p>○担い手の卵を育てる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象は小学6年生 ・地域の皆さんから畑を借り、地域の農家さんに作り方を教わり、地域と協力して事業を実施 ・春に野菜の苗を植え、夏に収穫した野菜で給食のメニューを考え、給食の食材として使用。そして、秋に収穫できるサツマイモで「運動会のように行う収穫対決」「サツマイモレシビ対決」を実施 「レシビ対決」で一位となったレシビを給食のメニューに採用。1年をとおして取組みにする ・この事業でお世話になった皆さんに報告会を実施し、収穫した野菜はおすそ分けして地域との交流を図る <p>→活動を通して、農業体験をした人が地域の農業を手伝い、将来的に農業に関わる仕事に就く人を増やす！</p>	<p>【農政部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぎふ農業活性化基本計画(R8-12)の基本方針1に反映する。 ・田んぼの学校の取組を拡充する。 →農業体験の要素を充実(米以外の品目の拡充) ※アグリパーク構想のうち、スポット体験(農業×教育)のメニュー充実に資する取組 ※レシビ考案や学校給食での配食などは、他部署(農産物流通課等)と連携しながら実施。 	<p>【農政部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと農村活性化対策調査研究等事業費うち田んぼの学校活動事業 1,841千円(R7年度3月補正) 	農政部
6	高校生	<p>【農業×移住】</p> <p>○農業を田舎で始めるハードルを下げる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業体験プログラムを制作し、地域ぐるみで農業体験できる組織を設立 ・組織で、都市部に住む方々に対して農業の始め方や準備など農業に関することを教える ・農業を希望する方に、組織に所属している農家の方が自立した農業が行えるようサポート ・体験による住居や農地などは組織が貸し出し、体験で得た収入の一部を受け取れるようにし、不安要素を少なくする <p>→地方に移住し、農業を始めやすい環境を作り、同時に地方の過疎化を食い止める！</p>	<p>【農政部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぎふ農業活性化基本計画(R8-12)の基本方針1に反映する。 ・アグリパーク公募型事業(新設)により対応する。 →モデルの一つとして、「中山間地域に適した農業参入」タイプを想定 	<p>【農政部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アグリパーク重点推進モデル実践事業費補助金 47,500千円(令和7年度3月補正) ・楽しく儲かる農業実現支援事業費補助金 うち25,000千円(令和7年度3月補正) ・アグリパークサポート体制構築事業費 9,200千円(令和7年度3月補正) ・アグリパークサポート体制構築事業費補助金 8,000千円(令和7年度3月補正) 	農政部
7	高校生	<p>【農業×観光】</p> <p>○トマトフルコース観光</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外からの旅行者に、食べごろで出荷できないトマトを収穫体験してもらい、料理として提供。それを観光資源にすることで、廃棄されるトマトを減らすことができる。 ・キッチンカーを利用し、「収穫したその場で料理を提供」、「宿泊施設と連携し収穫したトマト料理を提供」などを実施し、楽しんでいただくことができる <p>→農産物(トマト)と観光を組み合わせた体験ツアーで、岐阜県の農業を盛り上げる！</p>	<p>【農政部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぎふ農業活性化基本計画(R8-12)の基本方針3に反映する。 ・インバウンドと輸出の好循環の形成に向け、生産者による飲食・体験メニューの旅行商品化支援(新設)により対応する。 	<p>【農政部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インバウンド連携型農畜水産物輸出拡大事業 3,400千円(令和8年度当初予算) 	農政部
8	高校生	<p>【農業×企業連携】</p> <p>○既存企業との地域連携し、持続可能な農業を岐阜から全国へ広げる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンビニと連携し、地元野菜や果物を使った商品を開発し、全国へ発信する ・地元の祭りと連携し、地域の農作物を使った料理やスイーツを提供し、地域での知名度を上げ、農家と企業が連携する機会を広げる ・スーパーと連携し、県内野菜を購入するスタンプラリーを実施し、クーポンや体験チケットなどと交換して地域ごと盛り上げる ・飲食店と連携し、地域で作った農作物を見せながら、料理を提供 <p>→企業と連携した持続可能な農業で岐阜県さらには日本の農業を守る！</p>	<p>【農政部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぎふ農業活性化基本計画(R8-12)の基本方針1に反映する。 ・企業版の田舎応援隊(新設)により対応する。 →まずはボランティア制度の枠組みの中で企業と農村地域との連携体制を構築。その上で企業が農業への参入を目指す場合は、他部署(農業経営課等)の他事業と連携。 	<p>【農政部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと農村活性化対策調査研究等事業費うち田舎応援隊事業 12,202千円(R7年度3月補正) ・棚田地域水と土保全基金事業費うち棚田応援隊事業 3,420千円(令和8年度当初予算) 	農政部
9	高校生	<p>【農業×福祉】</p> <p>○栽培キットを配布</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野菜の直売所や農業体験施設などで、栽培キットを配布 ・実際に農業を体験できることで、より関心を高める ・自分で育てた野菜を持ち寄って、収穫祭で調理して食べ、地域交流を図る。そうすることで、生産者としての喜びを知り、地域交流が活発になることで地域への愛着が強まり、人が定着。さらに農業に携わるきっかけ作りにもなる。 <p>→農業を体験し、地域とつながり、農業する人を増やし、岐阜県に定着する人を増やす！</p>	<p>【農政部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぎふ農業活性化基本計画(R8-12)の基本方針1に反映する。 ・田んぼの学校の取組拡充にて検討する。 →農業体験を実施していない学校等でも体験の機会を得られるよう、栽培キットの配布などの仕組みを検討。 	<p>【農政部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと農村活性化対策調査研究等事業費うち田んぼの学校活動事業 1,841千円(R7年度3月補正) 	農政部

令和7年度 若者未来デザイン会議における出席者提案・意見の施策反映状況一覧

通番	属性	提案内容	施策への反映結果	施策に係る事業名、予算額	関係部局
10	大学生	○公共交通機関の拡充 ・車を使う人を減らし、電車やバスの便数や路線を拡充 ・自動運転バスの本数や路線を増やす ・モノレールなど便利な手段の拡充 ・公共交通機関の運転士の待遇、環境の改善	【都市建設部】 ・岐阜圏域のまちづくりの検討の中で、LRTを有力な候補とした新しい交通システムの導入について検討を行っている。 【都市公園・交通局】 ・地方鉄道の施設設備の更新・改修等のほか、乗合バス(広域バス路線)及び市町村バスの運行経費等を支援している。 ・自動運転の実証実験に対する支援を通じて、自動運転バスの社会実装を促進している。	【都市建設部】 新しい交通システム導入の検討 ・まちの賑わい創出に向けたまちづくりの推進 新しい交通システム導入に係る事業スキーム検討業務 新しい交通システム導入に係る交通再編検討業務 30,000千円(令和7年度9月補正予算) 1,000千円(令和8年度当初予算) 【都市公園・交通局】 地方鉄道・バス交通網の維持確保対策の促進 ・鉄道安全輸送設備等整備事業費補助金 126,526千円(令和8年度当初予算) ・鉄道施設維持修繕事業費補助金 255,590千円(令和8年度当初予算) ・バス運行対策費補助金 461,851千円(令和8年度当初予算) ・市町村バス交通総合化対策費補助金 500,484千円(令和8年度当初予算) 自動運転バスの社会実装促進 ・地域公共交通DX促進事業費補助金 自動運転移動サービス導入事業分 25,040千円(令和7年度9月補正予算) 42,000千円(令和8年度当初予算)	都市建設部 都市公園・交通局
11	大学生	○災害の対策の強化 ・一層のハザードマップの周知強化 ・災害への対策がしっかりと取れていることのPR	【危機管理部】 ・「災害・避難カード」を学校などで作成する取組により、ハザードマップの周知強化を実施し、住民の主体的な避難行動の促進に取り組んでいる。また、この「災害・避難カード」はウェブ上でも作成可能であり、各種防災イベントでチラシを配布する等、普及に取り組んでいる。 ・南海トラフ地震や直下型地震等による震度分布や被害想定の見直しを実施している。また、県民がそれらによる被害をより具体的にイメージできるようにするため、分かりやすい周知・啓発方法について検討を実施している。 ・自治会を中心とした地域の防災力を強化するため、「県民からの提案(政策オリンピック)」により楽しい防災訓練を実施する。 ・消防団員確保につながる今後の消防団の在り方などについて、令和8年度に県民のアイデアを募集(政策オリンピック)する。 【未来創成局】 ・「広域避難・支援体制の強化」、「将来の関係人口の増加」などを目的として、県外の小中学生が岐阜県の子ども達と一緒に宿泊・交流・防災体験を楽しみ、学ぶ交流活動を実施する。(ふたつのふるさと(海・山の防災交流)事業)	【危機管理部】 ・防災啓発推進費 19,535千円(令和8年度当初予算) ・地域防災力向上推進事業費補助金 8,400千円(令和8年度当初予算)	危機管理部 未来創成局
12	大学生	○商店街の活性化、商業施設や娯楽施設、観光スポットの充実 ・商店街に有名店を誘致し、活性化させる ・商業施設に地元のお店が多く入るようにし、地元企業を元気にする ・全国から若者に岐阜県に来てもらえるようなグランピングなどの娯楽施設や観光スポットを増やす ・熱中症などを気にすることなく子どもたちが遊べる屋内施設を充実させる ・上記を踏まえた街の良さをSNSで発信して、一層アピールをする	【商工労働部】 ・まちづくり会社が中心市街地の遊休不動産オーナーと賃貸契約を結び、第三者に転貸する「サブリース」を行う場合、その不動産に係る設備改修費を補助し、商店街活性化の支援を図る。 ・商店街の活性化に寄与する県内外からの新規出店プロジェクトに係るクラウドファンディング手数料の一部を補助する。 【林政部】 ・県では森林空間を観光や教育など多様な分野で活用する森林サービス産業を推進している。令和6年度からは、新たに森林サービス産業に取り組む事業者への補助制度を創設し、これまでに10者に支援を行っている。 【観光文化スポーツ部】 ・地域資源を生かした観光コンテンツの造成やイベント開催といった地域の観光地づくりを支援する。 ・本県は、全国から観光客に来てもらえるような自然アウトドア体験が豊富にあることから、関係事業者等と連携した一体的なプロモーションを実施し、全国的な認知度向上、誘客促進を図る。 【都市公園・交通局】 ・毎年、ぎふワールド・ローズガーデンにおいて閑散期対策として実施している冬季のキッチンカーグランプリについて、昨年度は4週(週末及び祝日)の開催であったが、今年度は5週にわたり実施することとした。また、他の公園についても、岐阜県公式インスタグラム等を活用した情報発信を行い、県内のみならず県外からの誘客促進に取り組んでいる。	【商工労働部】 ・中心市街地遊休不動産活用事業補助金 3,000千円(令和7年度3月補正予算) ・商店街活性化支援事業費補助金 7,400千円の内数(令和8年度当初予算) 【林政部】 ・森の魅力創出支援事業費補助金 12,500千円(令和8年度当初予算) ・森林サービス産業環境整備支援事業費補助金 75,000千円(令和8年度当初予算) 【観光文化スポーツ部】 ・ストーリーでつなぐ岐阜県観光推進補助金 48,000千円(令和7年度3月補正予算) ・豊富なアウトドア資源を活用した誘客プロモーション事業費 100,000千円(令和7年度3月補正予算) 【都市公園・交通局】 ・指定管理事業	商工労働部 林政部 観光文化スポーツ部 都市公園・交通局

令和7年度 若者未来デザイン会議における出席者提案・意見の施策反映状況一覧

通番	属性	提案内容	施策への反映結果	施策に係る事業名、予算額	関係部局
13	大学生	○県内への就職先の質の向上 ・県内への就職先の企業選びガイドラインを作成し、質の良い就職先を選んで就職しやすくする ・県内企業の福利厚生などを充実させ、働きやすい企業を増やす	【商工労働部】 ・岐阜県企業の魅力発信WEBサイト「ギフッシュ」では、各種企業認定制度の取得状況など、就職先を選ぶうえで参考となる情報を発信している。 【子ども・女性部】 ・「仕事と家庭の両立支援」や「女性の活躍推進」などの取組が、特に優れている企業を「岐阜県ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業」として認定している。	【商工労働部】 ・中小企業総合人材確保センター運営事業費 137,116千円(令和8年度当初予算) 【子ども・女性部】 ・ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業拡大促進事業 19,626千円(令和8年度当初予算)	商工労働部 子ども・女性部
14	大学生	○安心安全なまちづくり ・街灯を増やし、安全に暮らせる街にする ・街灯以外にも、カーブミラーや歩道などを整備し、安全に暮らせる街づくりを促進する	【県土整備部】 ・県管理道路について、歩道整備による安全な歩行空間の確保に引き続き推進する。 【都市建築部】 ・歩行者の回遊性・利便性を向上させ、安全に暮らせる街づくりを促進するとともに、快適な歩行空間の整備を引き続き実施する。 【警察本部】 ・防犯の観点から、「市町村の都市計画に関する基本的な方針」(市町村マスタープラン)に対する意見照会において、街路灯等の設置を意見具申しており、設置を促す働き掛けを実施する。 ・交通事故原因の調査、分析、検討等の結果を道路管理者、自治会、交通安全協会の関係機関と共有し、例えばゾーン30の設置により、生活道路における安全を図るなどして交通規制を含めた交通環境整備を実施することで総合的な交通事故抑止対策を行い、安全な通行の確保による安全安心なまちづくりを引き続き推進する。	【県土整備部】 ・交通安全施設等整備事業費(令和8年度当初予算(枠予算)) 【警察本部】 ・事業名・予算:なし(生活安全総務課) ・街灯、カーブミラー、歩道の整備は道路管理者の対応となる。(交通企画課・交通規制課) 交通安全施設の整備及び維持管理の費用 特定交通安全施設費 735,758千円(R8度当初予算) 単独交通安全施設費 671,000千円(R8度当初予算)	県土整備部 都市建築部 警察本部
15	大学生	○若者と高齢者がともに生き生きとしたまちづくり ・若者と高齢者を繋ぐコミュニティを作る (若者と高齢者の双方がいてこそ生き生きとした街になる) ・高齢者が楽しめる施設などの充実	【健康福祉部】 ・健康寿命の延伸につながる取組を一体的に展開する中で、若者から高齢者まで幅広く参加できる機会を創出し、世代間の交流を拡大する。 主な取組 ぎふモーニングプロジェクト ・喫茶店のモーニング文化を活用し、頑張らなくても自然と健康になれる取組を展開 ミナレク運動の展開 ・県民皆がレクリエーションを通して、体・心・頭の健康増進を図る取組を展開 健康経営の推進 ・従業員の健康づくりに取り組む健康経営宣言企業を支援する取組を展開 等	【健康福祉部】 ・ぎふモーニングプロジェクト推進事業費 3,518千円(令和7年度3月補正予算) ・岐阜県「ミナレク運動」推進事業費 72,300千円(令和7年度3月補正予算) ・岐阜県健康経営推進事業費 3,554千円(令和8年度当初予算)	健康福祉部 観光文化スポーツ部
16	社会人	○県内企業が地域内でつながり、協働する機会を提供し、ビジネス・イノベーションの出発点となる「地域経済循環プラットフォーム」を作る。 フェーズ1:企業版マッチングアプリを作り、アプリに登録した企業がオンライン上で繋がる フェーズ2:自社が提供できるノウハウをプラットフォームで共有し、登録している企業が他業種などの知見を互いに活用 フェーズ3:自社の強みを活かし、他社と協働して行政課題の解決に取組みたい企業や学生をマッチングすることで、行政課題(防災・脱炭素、医療など)をテーマに官民協働・共創の実証を設計する	【商工労働部】 ・スタートアップとの共創・連携によりイノベーション創出を図る取組に反映する。 ・革新的なアイデアや製品・サービスを強みとし、社会課題の解決を成長のエンジンとする「スタートアップ」との協業にフォーカスし、県がプラットフォームの役割を果たして、意欲ある県内企業・企業グループや県・市町村とスタートアップをマッチングして、新たなビジネスの創出や地域の課題解決を促進する事業を新たに実施する。 ・課題の明確化、マッチング要件の整理、共創・連携体制の構築、実証事業・新規事業開発などを伴走支援し、共創・連携モデルを創出してノウハウを共有する。	【商工労働部】 ・スタートアップとのオープンイノベーション促進支援事業費 12,896千円(令和7年度3月補正予算) ・スタートアップとの官民連携促進事業費 13,919千円(令和7年度3月補正予算)	商工労働部
17	高等部 教員	<意見> ○生徒達が活動する場所の拡大について ・校内視察において、生徒達の校内菜園などを見ながら、活動場所を広くできないか話題になった。 ○生徒との意見交換では、生徒達から、自己紹介、将来の夢、今頑張っていることなどを聴取 ・生徒の皆さんより、ファッション関係の仕事や、動物園などの飼育員を目指していることや、社会に出ていく時の力をつけるために作業実習(実習活動)を頑張っていることなど。 ○教職員との意見交換では、現在の業務内容、日々感じている課題や展望などを聴取。 ・教員の皆さんより、特別支援教育への思い、生徒達と向き合う姿勢、一人ひとりに応じた指導を日々模索していることなど。	【未来創成局】 ・東濃特別支援学校の児童生徒が屋外で学習活動(農作物の栽培など)する場所を充実させるため、学校において、隣接地の利活用について検討。 ・学校側の希望土地(学校侵入道路の北側)について、所有する土岐市と調整し、10月末に正式に使用許可を得た。 ・次年度から、学習活動で利用する予定としている。	※特段の予算措置なし (学習活動に関する予算は、既定経費で対応)	未来創成局